

## 感話

S.K.

皆さん、恵泉デーお疲れ様でした。天気にも恵まれ、無事に終えられたことに安心しています。KPS の企画はほぼ時間通りに行われ、GF も予想以上に盛り上がりました。軽音楽クラブの一部員としても楽しく演奏できて嬉しかったです。先生方や支えてくださった方々、そして何より恵泉生一人一人に感謝の気持ちでいっぱいです。

私は三年生の頃から実行委員として恵泉デーに関わってきました。それからは恵泉デーを終える度に自分自身が以前より成長したように思っていました。そして去年の恵泉デーが終わり、委員長の感話を聞いたとき、委員長になろうと決心しました。その時は、委員長という役職がどんなものであるか、また自分のやりたいことを欲張る大変さをわかっていなくて、何かを成し遂げようと自信に満ち溢れていたように思います。私が思う恵泉デーは、校内の一大イベントであり、少し日常から離れていて、恵泉生一人一人がそれぞれの力を発揮し合って成り立つものだと思っています。その中で、恵泉デー委員長には二つの役目があります。一つは、テーマや企画、各クラスの恵泉デー委員をまとめること。私は今年の恵泉デーのテーマ「探究」は成功したと思っています。各クラスの企画書に目を通し、テーマへの関心や理解を深められたと思っています。Your Choice では、1年生が二つの部門で入賞するなど、予想外の展開もありました。どのクラスも個性があって興味を誘う企画が多く、様々な場面でテーマを取り上げてもらえたことは、嬉しいことでした。3年水仙組の水仙トイレなど、発想が独創的で面白いなと思いました。もう一つの委員長の役目は、実行委員会を取りまとめることです。そこでの委員長の仕事は何か、正直直前までわかりませんでした。私が思い描いていた委員長は、周りを引っ張り、信頼も厚く、キラキラした存在でした。実際は、各実行委員長の進捗状況を把握しようとしてもうまくいかず、3・4年の実行委員を持つ余裕も多くありました。委員長とは何か、自分に問いかけ、実行委員だった先輩に話を聞いてもらうこともありました。そんな中、いつも相談していた母に、委員長は雑用だといわれて、私の悩みは消えました。委員長=雑用係は1番理想的であると気付いたのです。誰よりも全体を把握し、どの仕事も出来るようにしておく。それぞれの締め切りを管理したり、舞台では裏方に徹したりと、地道に頑張る立ち位置なのだと感じました。

当日はあっという間に過ぎてしまいました。まだ恵泉デーが終わったことが信じられないくらいです。忙しく校内を走り回る日々ももう来ないと思うと今となっては寂しいです。皆さんにとってはどのような恵泉デーになったのでしょうか。私は公約文に「恵泉デーが楽しみな人もいればそうじゃない人もいる」と述べました。恵泉デーを終えて、少しでも多くの方が来年の恵泉デーを楽しみにしてくれたら嬉しいです。